

滋賀県立近江富士花緑公園の魅力向上について ～ローム株式会社の支援による整備工事～

1 概要

- ローム株式会社の支援による「近江富士花緑公園の魅力向上にかかる整備工事」が開始となる。
- 当該工事は、令和 4 年 4 月に滋賀県とローム株式会社で締結した協定に基づく協働による取組のひとつ。
- 整備工事をきっかけに、「森の入口」として、より身近に森と緑にふれることができる公園として魅力向上を図っていく。

2 整備工事に至る経緯

- ・ ローム株式会社が花緑公園に注目されたのは、令和元年度に、公園の持つ自然環境やアクセスの良さなどのポテンシャルに魅力を感じていただいたことがきっかけ。
- ・ コロナ禍を経て、滋賀県が進める「やまの健康」とローム株式会社の「ロームグループの環境ビジョン 2050」の柱の1つである「自然共生」など、双方のビジョンを実践することにつながるとして、令和 4 年 4 月に協定を締結。

「人と森をつなぐ」協定締結（令和4年4月21日）

通常のパートナーシップや寄付の枠にとらわれない官民協働の新たな形を模索し、人と森がつながる持続可能な自然共生社会の実現に向け、近江富士花緑公園を実践モデルとして、協働で取り組むことを検討し、連携・協力していくこととなったもの。



- ・ 今回、協定に基づき、生物多様性や脱炭素など、自然共生社会の実現に向けたひとつの形として、より多くの人々が森と緑に親しめるよう、公園施設の改修工事を行うこととなった。

3 整備工事の概要等

特徴：コンセプトづくりから整備工事内容まで、協働で実施。

整備工事はローム株式会社側で実施し、工事完成後の公園施設を県に寄附。

工期：令和5年12月～令和6年12月（予定）

内容：・ 利用者を森へいざなう空間へ、森に囲まれた多目的広場を整備（植物園）

・ 子育て世代の「森の入口」として木製遊具等を整備（遊具広場）

・ 遊歩道や看板等、森へいざなうためのサイン等を整備（森林内等） 等

4 その他

今回の整備工事に加えて、公園では木育拠点整備を計画している。これら2つの整備工事の取組を柱に、令和 6 年度からの新たな公園の指定管理者とともにソフト面の充実も図り、公園の魅力向上を進めていく。

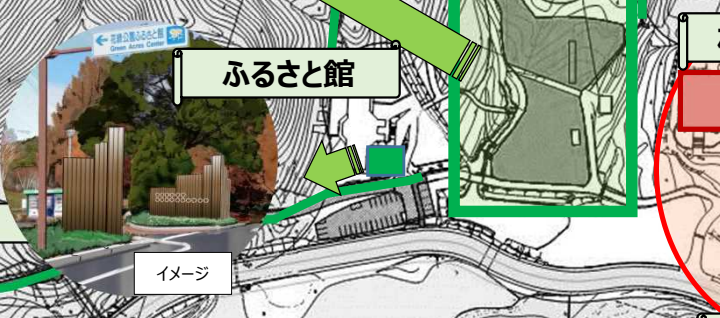
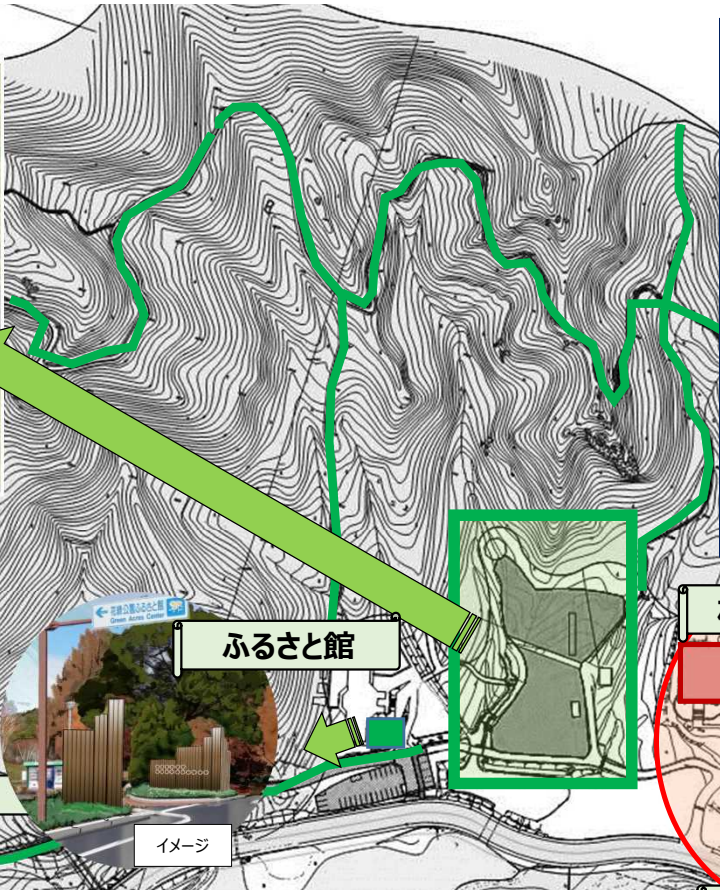
木育拠点整備

- ・ 豊かな自然環境を活かし滋賀らしい木育拠点施設として「森林のわくわく学習館」等を改修。
- ・ 令和 5 年度に、関係者とのワークショップにより、方向性等を議論し、整備内容を決定する。
- ・ 令和6年度から工事着工予定。



「遊具広場エリア」= 子育て世代の森の入口
・木製遊具の設置
・多目的デッキの設置 等

森林
・遊歩道、看板などの整備
全般
・歩道や駐車場などの整備



わくわく学習館
木育エリア = 県直営による木育施設等整備
・わくわく学習の木育拠点整備
・ウッディールーム、普及センターも併せた拠点整備



「植物園エリア」= 森に囲まれた多目的広場で賑わいを創出し、利用者を森へいざなう空間へ
・噴水撤去し、芝生広場の整備
・園路等改修
・在来樹種を中心とした森へ

